

瑞宝太鼓 × 鼓童

in 地域共生フォーラム

障害のある人もない人も共にいきるまちを目指して

2018 10.6 [土]

会場：上越文化会館大ホール

上越市新光町1丁目9-10 TEL.025-522-8800
(休館日を除く9時～17時)

一般 3,000円

中学生以下または障害者手帳をお持ちの方 1,000円

■チケット販売：8月11日(土)から上越文化会館・髙田デザインスタジオ
※当日券の販売はありません。

11:00 開場
13:00 第1部 基調講演
14:00 第2部 瑞宝太鼓・鼓童公演
16:00 終演

一部優先席あり
その他
全席自由

※車イス席には限りがありますのであらかじめお問い合わせください。



基調講演 道志 真弓氏

講演テーマ 「生きているって幸せ」

■主催／第1部：上越市 第2部：上越市・「音楽を通して障がい者就労を考える会」実行委員会
■共催／新潟県上越地域振興局 ■後援／上越市社会福祉協議会

お問い合わせ

「音楽を通して障がい者就労を考える会」実行委員会事務局(髙田デザインスタジオ内) ☎025-520-8730 担当：加藤)
または上越市役所 福祉課 ☎025-526-5111(代)

詳しくは
コチラ→



瑞宝太鼓

障がい者長崎打楽団「瑞宝太鼓」は

「生かされた人間ではなく自ら生きる人間に」のスローガンを

自ら体現する知的障がいがあるメンバーで構成されたプロの和太鼓集団。

1987年に知的障がい者の余暇サークルとして発足。楽しみながら練習と演奏活動を続けてきたが、「プロになりたい」とたくさんのクラブ員から希望の声が上がり、その夢を叶えるため2001年に4名の団員で構成する「瑞宝太鼓」を結成。今では日本全国、時には世界を舞台に年100回以上の公演や、講習活動を行う。また全国の少年院・刑務所での演奏や学校公演、東日本大震災での支援活動を通して社会貢献活動も行っている。

「希望し、努力し、感謝して生きる」をテーマに、特技・特性を活かした活動を展開している。

主な受賞

- 2002年 第1回東京国際和太鼓コンテスト入選
- 2003年 第2回東京国際和太鼓コンテスト入選
- 2008年 サントリー地域文化賞
長崎県民表彰特別賞
- 2010年 第9回東京国際和太鼓コンテスト優秀賞
- 2012年 法務大臣感謝状
優秀勤労障害者 長崎県知事表彰
- 2013年 第27回人間力大賞 文部科学大臣奨励賞
- 2017年 文部科学大臣表彰

主な海外公演

- 1992年 スペインバリンピック閉会式出演
- 1997年 ニューヨーク国連本部・ロサンゼルス公演
- 2000年 シドニーバリンピック・ブリスベンフェスタ出演
- 2004年 スウェーデン・ブルネス INAS-FID
グローバル大会他演奏
- 2008年 マレーシア「ムヒバセンター」
開所祝賀演奏・友好訪問演奏
- 2012年 ワシントン・ニューヨーク
桜まつり 100周年記念イベント演奏
- 2017年 2017ジャパン・ナントプロジェクト
フランス公演



団長 岩本 友広

瑞宝太鼓団長。得意とする大太鼓はこれまでの人生を語るかのような貫禄を見せる。父親でもある団長は息子の名前にちなみ「YUKI」というオリジナル曲を初めて作曲した。



山下 弾

独特でコミカルなテンポを奏でる彼は不思議な愛のパワーにあふれている。友だち作りが上手で穏やかな性格は力強い演奏にも見え隠れし、会場からは弾さんコールがかかる。



高倉 照一

あらゆるジャンルの音楽を愛し、これまでに30曲以上のオリジナル曲を生みだしている。豪快でパワフルな表現を得意とし一人で打つ組太鼓は観る者を惹きつける。



辻 浩一郎

鳴り物である「チャッパ」に魅了され、音色が変化することへの探究心から演奏も深みを増しステージ上でのチャッパ演奏はキラリと光っている。



中村 慶彦

リズムカルなテンポで共演者をリードする彼は、澄んだ瞳でまっすぐに客席を見据え、その視線に心奪われる観客も少なくない。



川原 慧介

スタイリッシュで真っ直ぐなフォームは誰にもまねできない。努力家である彼の口癖は「一生懸命」。それが演奏する姿勢でもあり、生き方でもある。



川崎 拓也

乱れぬテンポを刻む傍ら、どしどしとした大太鼓を打つ姿が魅力的でファンも多い。演奏も几帳面だが太鼓のメンテナンスも彼の右に出る者はいない。



森田 祐司

「天まで届く太鼓を打ち鳴らす」と自分に言い聞かせる彼は Only One の単がある。その笑顔と愛嬌はムードメーカーの証であり観客からも愛されている。



坂田 一星

篠笛を得意とし、自作の曲にはファンタジーな世界観がある。彼が得意とするダンスの振り付けは、太鼓講習やトレーニングなどに活用され喜ばれている。



増田 樹

ステージ上で演奏する彼の表情に観客は釘付けである。素直な性格がそのまま叩く姿勢と太鼓の響きと、そして掛け声に表れ、観ている側が一緒に叩いたような開放感に浸れる。

太鼓芸能集団 鼓童

佐渡島を拠点に太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。

以来50の国と地域で6,000回を超える公演を行う。

劇場公演の他、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」や、異なるジャンルの優れたアーティストとの共演、映画音楽等へ多数参加している。

2012年から2016年まで坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。

新潟県内では、小・中学校での学校公演をはじめ、佐渡で毎年行っている野外フェスティバル、アース・セレブレーションの開催、公益財団法人鼓童文化財団が行う伝統文化の調査研究や太鼓体験など公演活動以外にも地域に根ざした活動を行っている。

出演予定 藤本吉利、小島千絵子、見留知弘、小平一誠、小野田太陽、詫間俊

<http://www.kodo.or.jp/>



道志 真弓

1965年生まれ。富山県出身 大阪在住。

元フリーアナウンサー。重度障がいを抱えた長女（享年8（歳））との歩みを講演。命の重さや感謝の心、生きることの素晴らしさを伝えていく。

2007～2011年 熊本市人権教育講師。

道志ファミリーのドキュメント番組は、ANNドキュメンタリー大賞優秀賞受賞。著書に「笑顔の戦士」

